



弥生小コミュニティスクールだより

～地域とともにある弥生小学校を目指して～

地域の皆様、保護者の皆様、いつも本校の教育活動への温かいご支援とご協力をいただきありがとうございます。10月23日(金)、第2回目となる学校運営協議会が開催されました。今回は、前半の教育活動の振り返り(運動会、地域連携、全国学力・学習状況調査結果など)の報告と、自由進度学習や小中接続、学校と地域の役割についての活発な熟議が行われました。



1 前半の教育活動と各種調査結果について

校長より、これまでの学校の取組成果や各種調査・アンケート結果について報告がありました。

● 教育活動・地域連携の取組

- **行事・体験学習**: 延期された運動会が無事に終了したほか、地域の方々の協力により田植えや案山子づくりを実施できました。4年生の福祉体験(視覚・聴覚・車イス)は学習発表会で発表予定です。
- **縦割り班活動・評価の工夫**: 掃除や遊びを通じた縦割り班活動の充実を図るとともに、子どもたちを認める壁面掲示(名人・達人・宝島など)で自己肯定感を高めています。
- **授業スタイル**: 自由進度学習の推進にあたり、校内での研究を進めています。

● 全国学力・学習状況調査および各種アンケート結果

- **6年 全国学力調査**: 平均正答率は全国・県を上回っており、無回答も少なく、これまでの取組が着実に結実してきています。
- **全国学習状況調査**: 前向きな回答が多く見られました。
- **校内アンケート**: 肯定的な回答が8割以上を占めており、子どもたちが落ち着いて学習・生活に取り組んでいます。自主的な態度に関する項目に若干課題が見られるものの、全体として良好な傾向です。

2 委員の皆様からのご意見と熟議の様子(要旨)

今回の協議会では、学校での落ち着いた様子や子どもを褒める掲示への評価とともに、「自由進度学習のあり方」や「小中学校の接続」、「家庭と学校の役割分担」について熱心な意見交換が行われました。

- **学校の様子・自己肯定感を育む掲示について**
 - **委員より:**「校内・教室の掲示物が充実しており、子どもたちが認められることで励みや自信になっている」「子どもたちが落ち着いて過ごしており、先生方も授業や工夫に大変頑張っておられる」と称賛の声が上がりました。また、「こうした努力や成果が保護者にもっと伝わるとさらに良い」との意見もありました。
- **自由進度学習と小中の接続(規律)について**
 - **熟議の深まり:**「小学校での新しい授業スタイル(自由進度学習)は自主性を育むのに良いが、中学校へ繋がっていく上での規律やメリハリの保ち方に課題があるのではないか」との懸念や疑問が出されました。
 - **学校・委員からの見解:**「授業の中でインプットとアウトプットの場面を設定し、メリハリをつけることが大切である」「中学校側でも主体的・対話的な学びへの変化が進んでいる学校もある」といった意見が共有されました。
- **持続可能な学校づくりと家庭の役割について**
 - **熟議の深まり:**「基本的なしつけは家庭や親が担うべき部分であり、学校や先生に負担が偏りすぎているのではないか」という指摘や、「教員の異動があっても良い取組を継続できるよう、長期的な視点で学校運営を考えていく必要がある」という温かい提言がなされました。

3 会議を終えて

今回の協議会を通して、学力調査や校内アンケートの結果からも本校の教育活動が着実に実を結び、子どもたちが落ち着いた環境で育っていることが確認できました。一方で、時代に伴う新しい学びのスタイル(自由進度学習など)を深めつつ、中学校へのスムーズな接続や規律のあり方、さらには学校・家庭・地域それぞれの役割分担について考えを深める貴重な機会となりました。



本校はこれからも地域・家庭と深く連携し、子どもたちが夢を持ち、自立して学んでいける環境づくりを進めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。